

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東 大

上場会社名 共英製鋼株式会社

コード番号 5440 URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森田 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 本社経理部長

(氏名) 北田 正宏

TEL 06-6346-5221

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	97,459	13.4	2,511	—	2,929	—	1,504	—
23年3月期第3四半期	85,964	1.0	△3	—	162	△98.7	△168	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,514百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △1,025百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	34.56	—
23年3月期第3四半期	△3.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	158,368	120,569	75.6
23年3月期	146,453	119,973	81.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 119,659百万円 23年3月期 119,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	12.1	4,000	—	4,500	—	2,500	—	57.47

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	44,898,730 株	23年3月期	44,898,730 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,394,196 株	23年3月期	1,394,196 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	43,504,534 株	23年3月期3Q	43,594,576 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、設備投資や個人消費など内需は底堅く推移しているものの、欧州債務問題や円高の一層の進行等により、期間を通じて先行き不透明な状況が続きました。当社グループ製品の主な需要先である建設業界では、震災の影響で見合わせとなっていた建設工事の再開や新たな防災関連案件の発生など復調の兆しが見え始めています。一方、原材料の鉄スクラップ価格は下期に入って大きく下落し、製品価格の維持には難しい事業環境でしたが、当社は需要に見合った生産・販売に徹することで、利益の確保に努めました。

これらの結果、当社グループの業績は、連結売上高は前年同期対比11,495百万円（13.4%）増収の97,459百万円、連結営業利益は前年同期対比2,514百万円増益（前年同期は3百万円の損失）の2,511百万円、連結経常利益は同2,768百万円増益（前年同期は162百万円）の2,929百万円、四半期純利益は同1,672百万円増益（前年同期は168百万円の損失）の1,504百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量は前年同期対比約6万2千トン増の113万8千トンとなりました。販売価格は前年同期に比ベトン当たり3.7千円上昇した一方、鉄スクラップ価格は10月から11月にかけて急落したため前年同期比トン当たり1.6千円の上昇に留まり、製品と鉄スクラップの売買価格差は前年同期に比ベトン当たり2.1千円拡大しました。

これらの結果、売上高は前年同期対比11,556百万円（14.3%）増収の92,607百万円、営業利益は同2,542百万円増益（前年同期は580百万円の損失）の1,962百万円となりました。

② 環境リサイクル事業

当事業部門については、付加価値の高い廃棄物処理による顧客の確保、新規顧客の開拓による利益の確保に努めました。産廃発生量の減少に加え、業者間の競争激化による処理単価下落等のため、売上高は前年同期対比83百万円（1.8%）減収の4,584百万円、営業利益は同173百万円（15.4%）減益の952百万円となりました。

③ その他の事業

当事業部門については、子会社を通じて土木資材の販売及び保険代理店業等を行っており、売上高は前年同期対比22百万円（9.0%）増収の269百万円、営業利益は同14百万円（57.5%）増益の38百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11,059百万円（15.7%）増加し、81,623百万円となりました。これは、現金及び預金が3,998百万円、受取手形及び売掛金が8,533百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて856百万円（1.1%）増加し、76,745百万円となりました。これは、有形固定資産が777百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて11,915百万円（8.1%）増加し、158,368百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7,462百万円（37.7%）増加し、27,232百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3,595百万円、その他の流動負債が3,399百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3,858百万円（57.5%）増加し、10,567百万円となりました。これは、長期借入金4,631百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11,320百万円（42.7%）増加し、37,799百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて595百万円（0.5%）増加し、120,569百万円となりました。これは、四半期純利益1,504百万円、剰余金の配当870百万円、土地再評価差額金の増加566百万円等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.3%から、75.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて7,571百万円増加し、23,584百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,088百万円の収入となりました。収支の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2,591百万円、減価償却費3,460百万円、売上債権の増加額8,533百万円、仕入債務の増加額3,595百万円、法人税等の還付額1,501百万円等です。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、32百万円の支出となりました。収支の主な内訳は、定期預金の預入による支出767百万円と定期預金の払戻による収入1,310百万円、有価証券の取得による支出500百万円と有価証券の売却及び償還による収入2,200百万円、有形固定資産の取得による支出1,718百万円等です。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,721百万円の収入となりました。収支の主な内訳は、長期借入れによる収入5,000百万円、配当金の支払額870百万円等です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月31日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,459	15,457
受取手形及び売掛金	27,272	35,805
有価証券	8,500	9,500
商品及び製品	11,020	10,606
原材料及び貯蔵品	8,418	8,056
その他	3,946	2,266
貸倒引当金	△52	△66
流動資産合計	70,564	81,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,761	14,383
機械装置及び運搬具（純額）	18,890	19,992
土地	27,053	27,047
その他（純額）	823	882
有形固定資産合計	61,528	62,305
無形固定資産	1,332	1,254
投資その他の資産		
投資有価証券	10,254	9,571
その他	2,866	3,700
貸倒引当金	△91	△85
投資その他の資産合計	13,029	13,186
固定資産合計	75,889	76,745
資産合計	146,453	158,368

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,629	17,224
1年内返済予定の長期借入金	471	478
未払法人税等	158	872
賞与引当金	621	360
役員賞与引当金	10	18
その他	4,881	8,280
流動負債合計	19,770	27,232
固定負債		
長期借入金	1,176	5,807
繰延税金負債	604	366
再評価に係る繰延税金負債	3,987	3,492
退職給付引当金	279	237
役員退職慰労引当金	15	13
その他	648	652
固定負債合計	6,710	10,567
負債合計	26,480	37,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,493	21,493
利益剰余金	75,322	75,913
自己株式	△1,635	△1,635
株主資本合計	113,696	114,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	982	588
繰延ヘッジ損益	—	△116
土地再評価差額金	4,763	5,330
為替換算調整勘定	△376	△429
その他の包括利益累計額合計	5,368	5,372
少数株主持分	909	910
純資産合計	119,973	120,569
負債純資産合計	146,453	158,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	85,964	97,459
売上原価	79,693	88,577
売上総利益	6,271	8,882
販売費及び一般管理費	6,273	6,370
営業利益又は営業損失(△)	△3	2,511
営業外収益		
受取利息	35	27
受取配当金	135	122
持分法による投資利益	—	258
その他	210	180
営業外収益合計	380	587
営業外費用		
支払利息	59	83
売上割引	34	37
コミットメントフィー	12	4
持分法による投資損失	57	—
その他	53	45
営業外費用合計	216	169
経常利益	162	2,929
特別利益		
固定資産除売却益	23	36
貸倒引当金戻入額	0	—
保険差益	47	—
その他	7	—
特別利益合計	77	36
特別損失		
固定資産除売却損	188	277
投資有価証券評価損	180	—
たな卸資産廃棄損	—	88
その他	32	8
特別損失合計	400	374
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△161	2,591
法人税等	△58	1,038
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△104	1,553
少数株主利益	65	49
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△168	1,504

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△104	1,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△809	△395
繰延ヘッジ損益	—	△116
土地再評価差額金	—	524
持分法適用会社に対する持分相当額	△113	△52
その他の包括利益合計	△921	△39
四半期包括利益	△1,025	1,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,089	1,465
少数株主に係る四半期包括利益	65	49

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△161	2,591
減価償却費	3,635	3,460
引当金の増減額(△は減少)	△401	△289
持分法による投資損益(△は益)	57	△258
投資有価証券売却償還損益(△は益)	15	—
投資有価証券評価損益(△は益)	180	—
固定資産除売却損益(△は益)	165	242
受取利息及び受取配当金	△170	△149
支払利息	59	83
売上債権の増減額(△は増加)	△6,905	△8,533
たな卸資産の増減額(△は増加)	△912	734
仕入債務の増減額(△は減少)	4,073	3,595
その他	1,362	1,036
小計	998	2,512
利息及び配当金の受取額	171	149
利息の支払額	△60	△73
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,067	1,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	△958	4,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△666	△767
定期預金の払戻による収入	3,310	1,310
有価証券の取得による支出	△675	△500
有価証券の売却及び償還による収入	8,206	2,200
投資有価証券の取得による支出	△65	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	64	—
預け金の預入による支出	△1,300	△100
預け金の払戻による収入	800	100
貸付けによる支出	△8	△66
貸付金の回収による収入	45	52
有形固定資産の取得による支出	△1,847	△1,718
有形固定資産の売却による収入	432	88
無形固定資産の取得による支出	△107	△55
その他	△333	△574
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,856	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	5,000
長期借入金の返済による支出	△343	△355
割賦債務の返済による支出	△5	△5
配当金の支払額	△1,300	△870
少数株主への配当金の支払額	△41	△49
自己株式の取得による支出	△662	—
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,351	3,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△207
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,534	7,571
現金及び現金同等物の期首残高	14,292	16,014
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,826	23,584

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,050	4,667	246	85,964	—	85,964
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	1,187	—	1,213	△1,213	—
計	81,076	5,854	246	87,177	△1,213	85,964
セグメント利益又は損失(△)	△580	1,125	24	570	△572	△3

(注) 1 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△572百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△583百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	92,607	4,584	269	97,459	—	97,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	152	1,138	—	1,290	△1,290	—
計	92,759	5,722	269	98,749	△1,290	97,459
セグメント利益	1,962	952	38	2,952	△441	2,511

(注) 1 「セグメント利益」の調整額△441百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△455百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。